



一般社団法人 日本テレワーク協会

一般社団法人
日本テレワーク
協会が推奨！

働く機会を、もっと多くの人へ。
企業の雇用課題を、仕組みで解決する。



障がい者在宅就労サービス

はたらくホーム

障がい者在宅就労サービスのご提案

株式会社 DEA (Digital Entertainment Asset)





世界を、プレイ可能な仕組みに。
社会を、動きたくなるゲームに。
社会課題を、ムーブメントに。

会社名	株式会社 DEA (Digital Entertainment Asset)
設立	2018年8月
所在地	東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル2F
代表者	吉田 直人、山田 耕三
事業内容	社会課題解決ゲーミフィケーション 開発及び運営



▼ 主要株主



PRODUCT プロダクトの一例

PicTrée (ピクトレ)

～ぼくとわたしの電柱合戦～

紹介
動画は
コチラ▶



140以上のメディアに露出

ゲームを楽しみながら、身近なインフラ設備の異常の早期発見などの社会貢献を実現！

誰もが未経験のWeb3エンターテインメントと、持続可能な社会貢献を両立、プレイ内容に応じて報酬を得ることも可能！

お散歩感覚で街を探索することで、地元のグルメや未体験スポットの発見などにもつながり、地域活性化にも貢献！



TBS
THE TIME



フジテレビ
めざましテレビ



北海道放送
今日ドッキリ!

はたらくホームに込めた想い

「雇う」と「働きたい」両方の当事者として考えてきました。

上場企業経営者であり、障がい者の家族。「雇用」のどちらの立場でもある視点から、必要な仕組みが見えてきました。

「社会課題を仕組みで解決する」DEAの思想から生まれたのが、はたらくホームです。

グループホームに居住する人材を、在宅就労で雇用し、当社のプラットフォームの内で業務を進めます。

人材紹介・研修・管理マネジメント・業務提供まですべてお任せいただけます。

生活と就労支援をグループホームが、業務管理、マネジメントを当社が担う。生活と業務、両面を支える二層構造によって、これまで分断されていた「暮らす」と「働く」を一体化し、安定した雇用の実現をお任せいただける仕組みです。

「外出が難しい」「人との関わりに不安を感じる」など、出社前提の雇用でこれまで機会の光の届かなかった方も、住み慣れた居室で支援を受けながら働くことができる。

「リモート雇用 × グループホーム支援 × プラットフォーム運用」という新しいかたちが、障がい者雇用の前提を変えていきます。



私には家から出ることのできない

障がい者の弟がいます。

「家から出られない＝働けない」
それが当たり前の現実でした。

しかし、業務のデジタル化とコロナ禍を経て、
働くことは「出社すること」とイコールではなくなりました。
はたらくホームは、その時代変化から生まれた仕組みです。

家から出ることが難しい方にスポットライトを当て、
これまで存在しなかった就労機会を生み出す。そしてそれを、
企業にとっても無理なく取り組める新しい社会貢献のかたちとして拡げていきます。



株式会社DEA

代表取締役会長

吉田 直人

Naohito Yoshida

28歳で人材・コンテンツ・
メディア領域で株式会社イオレなど
東証上場企業を3社創業。

現在も上場企業経営のほか、
株式会社DEAのCEOとして
ゲーミフィケーションを活用した
社会課題解決に取り組み、新たな
障がい者就労インフラ構築を
推進している。

精神障がい者に特化した理由

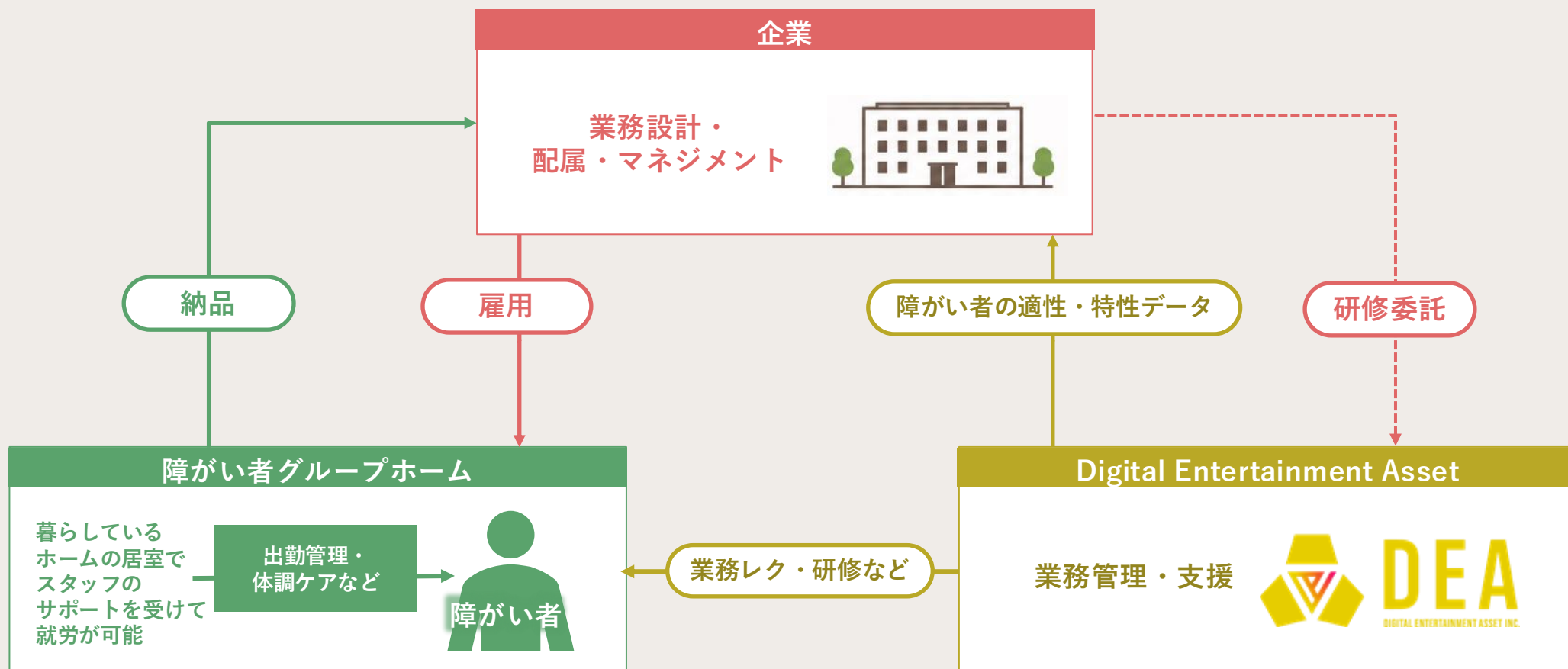
雇用機会	分類	就労に関する現状
	身体障がい	バリアフリー化など、 物理的な環境整備を前提としたオフィス出勤が主流。 ※事務職やコールセンターなど、一定の場所に留まって行う専門業務への定着率が高い。
	知的障がい	農作業・軽作業など、 手順が明確な「現場作業」での成功モデルが確立されている。 ※ルーチンワークやフィジカルワークにおいて、安定したパフォーマンスを発揮
	精神障がい	精神障がい者は、5年で1.9倍も増加。現在は600万人を超えるほどに。 過度なデジタルストレスの波で急増。「出社・対面」や「農園作業」といったアサインは、 彼らにとって感情や体調の波を増幅させる最大の障壁。 高い能力がありながら就労機会を得られないという深刻なミスマッチが起きている。

精神障がい者は、**雇用機会が著しく低い。**

私たちはこの社会課題の解決を試みるべく、
このプラットフォームを立ち上げました。

はたらくホームのスキーム

グループホームに居住しながらリモートでもしっかりと
業務ができる体制を構築。3か月間の研修をもとに適性・特性を可視化。



障がい者雇用＝人事が背負いきれない負荷・リスク

従来の「出社型」の採用には、**人事が背負いきれない3つの壁**が存在します

採用の壁

知識の問題

障害に対する知識・
障がい者の面接の知見不足。
学ぶ時間をとる必要あり。

通勤や出社の問題

きちんと働いてもらう
ためには「通勤・出社」が
必須。候補者が激減し、
優秀層は奪い合い。
通勤時・オフィス内での
トラブルリスクも増加。



運用の壁

配属トラブルの問題

特性・適性があわず
トラブルに。
人事が対応におわれることに。

緊急時対応

通勤時のトラブル対応や
連絡がとれなくなった際の
安否確認など・



契約の壁

契約終了が困難

たとえミスマッチが起きたとしても、
契約終了が困難。
採用リスクを抱えることに。

採用責任

トラブルやミスマッチが
起こった際の
責任の矛先が
人事に向くことも。



▶ 人事の負荷・リスクの大幅削減が必須

はたらくホームが人事を開放する

採用代行～キャリア判断まで一括お任せパッケージ

試用期間（3ヶ月）＝長い面接期間



4ヶ月目以降もサービスの継続が可能（研修・職業体験の継続）

たった1時間程度の面接で、採用可否の判断は難しいので、3ヶ月じっくり検討可

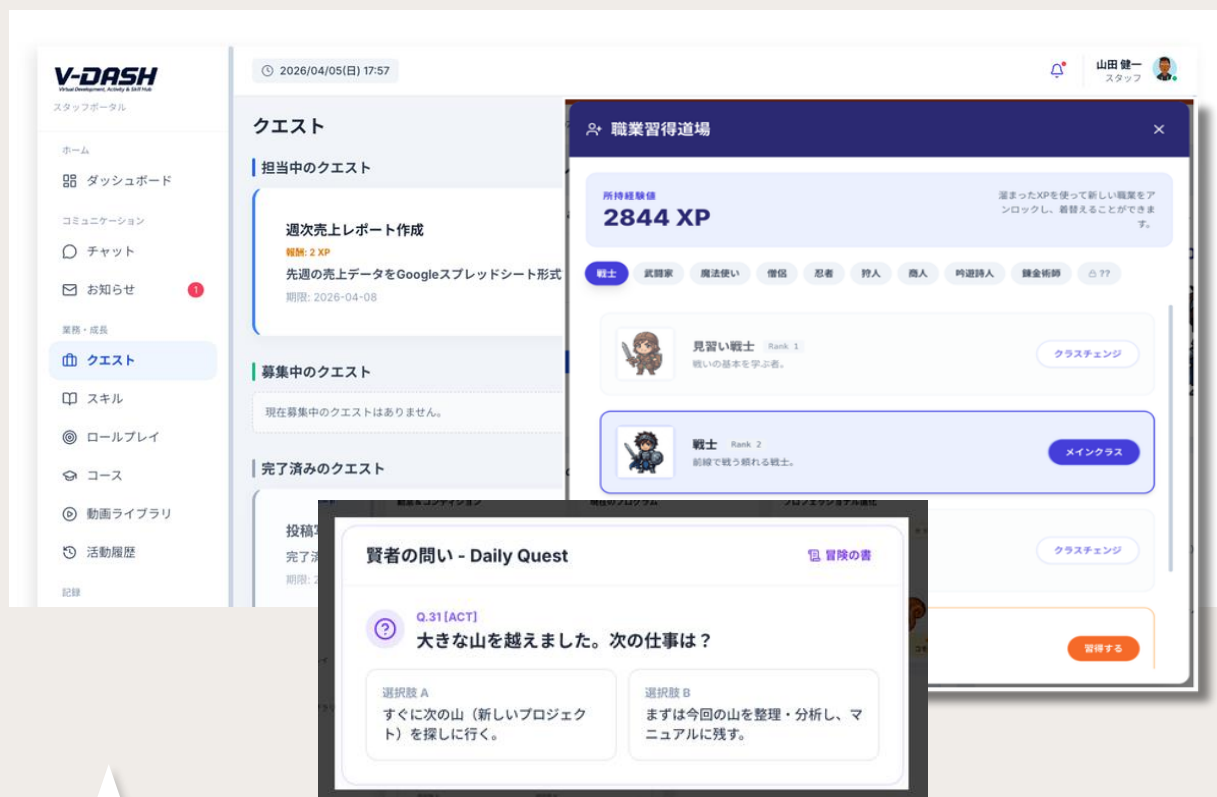


※採用企業さまで、障がい者の方のケア・労務管理・業務・研修などをいただくことも可

“働ける状態”をつくるための研修設計

「生成AI」と学習

ゲーム感覚でトレーニング



生成AIと、ゲーム感覚の“クエスト”仕立て・単位で
広範的に一般業務の基本を学び、実践

実務を想定した実践トレーニング

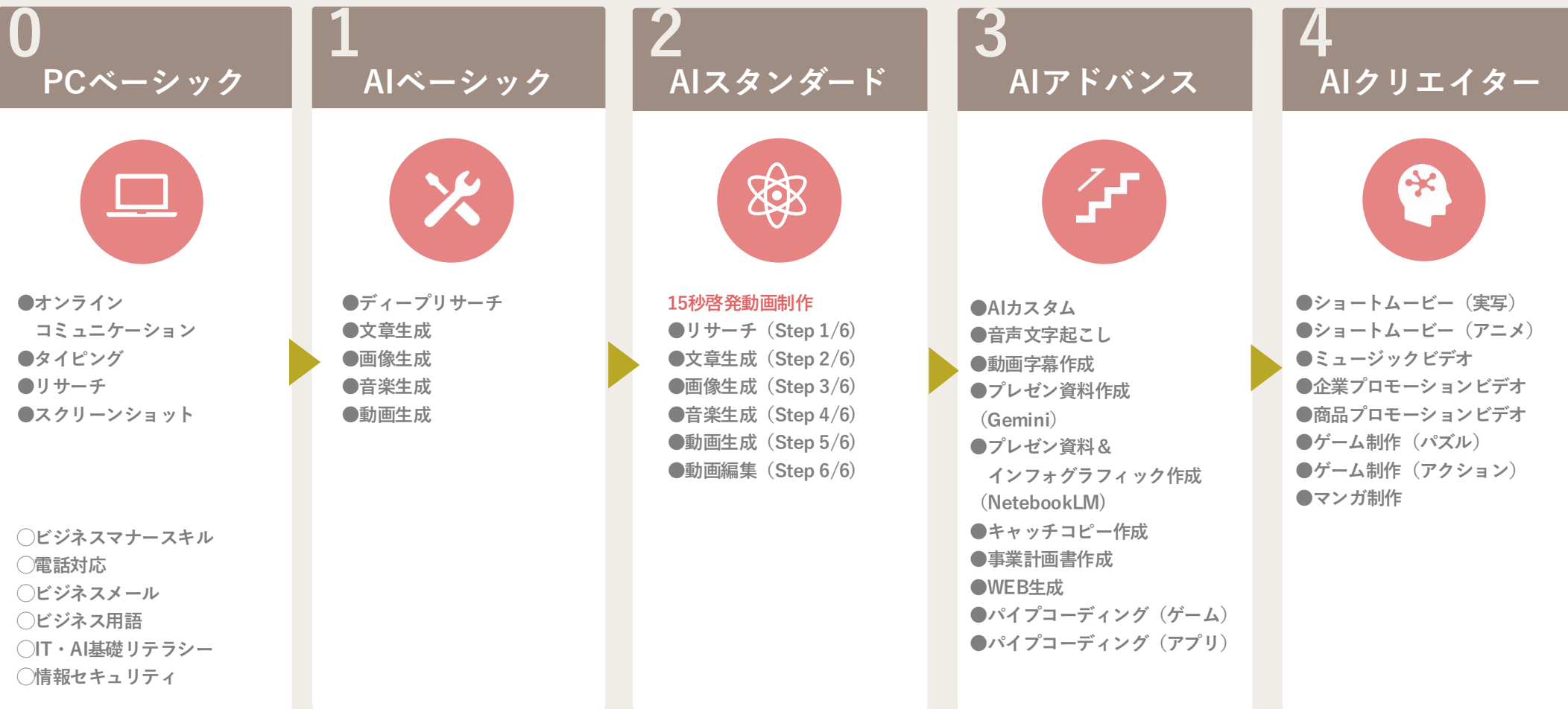


生成AIが細かく具体的に、
一般常識や基本スキルなどを指導

“実務で使えるスキル”を手に入れるための研修設計

「生成AI」を扱うための具体学習

基礎から応用まで、段階的にスキルを習得し、
実務に対応できるレベルまで引き上げる



はたらくホームの使い方は、3ステップ！

業務の切り出しも、タスク設計も不要。人事は「選ぶだけ」。

Step 1: 選ぶ



9つのタイプから、御社の"困りごと"に近いものを選ぶだけ。業務を切り出す必要はありません。

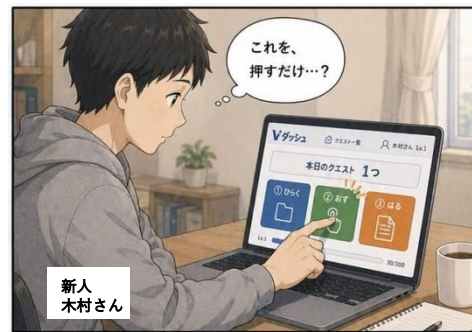


9つのタイプから選ぶだけ。
“何を任せればいいのか”で
悩まなくていいんです。

Step2: 任せる



選ばれたテーマを、
当社が具体的な作業に設計し、
雇用人材に作業指示を通知。

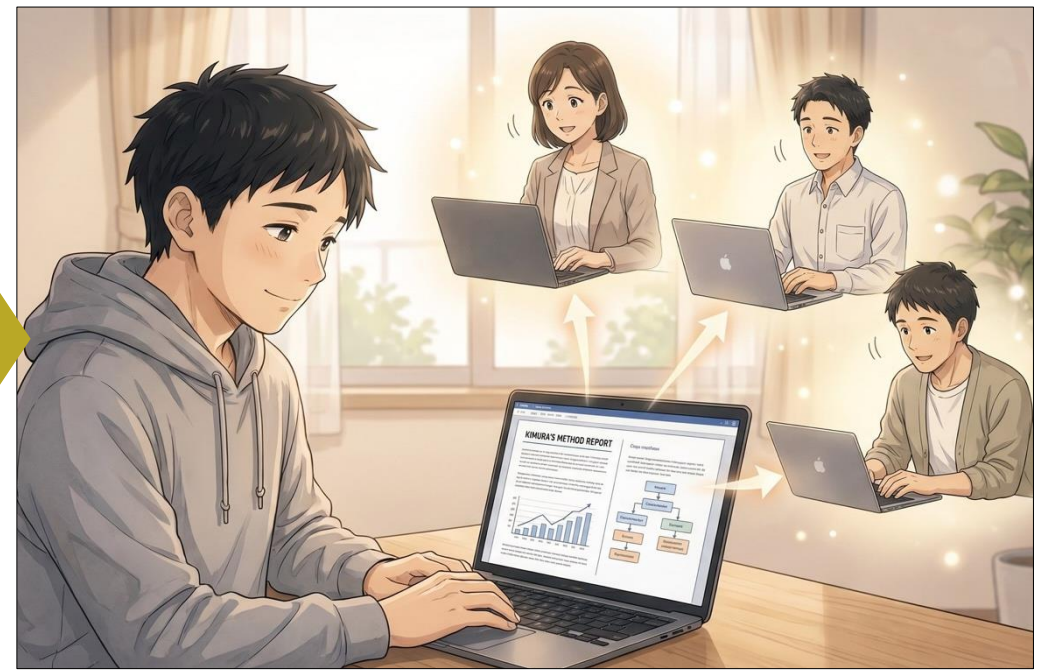


判断に迷うことは仕組みが
決めてくれる。だから目の前
の作業に集中できます。

Step2: 受け取る



完成した成果物が、決まったサイクルで納品されます。
届いたデータは部署を超えて共有され、
全社で使える資産になります。



人事担当の手間はほぼゼロ。
それでも、成果は全社に届く。

はたらくホームが提供する“職業体験”

職業体験の具体例

例) 当社コンテンツ「ピクトレ」内 画像判断/選別

手動レビュー (選択中シーズン残:34 / 全シーズン残:122) ①



例) データの整合性確認 (動画の字幕チェック)

手動レビュー (選択中シーズン残:34 / 全シーズン残:122) ①



DEA社が提供する、実際の業務をいくつも体験することで、
仕事のできる・できないレベルを図る

多様な業務を遂行。9類型カタログから 御社の課題に合うものを選択。切り出し不要・タスク設計不要。

A 全社底上げ・可視化 — AI活用を支える

キュレーター

業務で使えるプロンプト集	業務別に有効プロンプトを整理
AIツール早見表を作成	作業×最適ツールの対応表
業務別のAI活用手順書	手順をステップ化
便利プロンプトを社内向けに整理	社内語彙に翻訳
AI活用の成功事例をまとめる	使えた事例を共有用に整理
新ツール・新機能の使い方まとめ	新機能を検証しまとめ
よくある失敗・注意点をまとめ	落とし穴を整理
部署別「まず試す3プロンプト」	部署向けクイックセット
定型業務の雛形づくり	繰返し業務をテンプレ化
AI用語をやさしく解説	用語をかみ砕く
週次「今週のAI活用Tips」	毎週の小ネタを配信

チェッカー

誤字脱字・表記統一チェック	文書を校正し表記統一
数字・固有名詞のファクトチェック	数値・名称を照合
リンク切れ・出典確認	リンク・出典を点検
字幕・テロップの整合性チェック	字幕の誤り・ズレを検出
翻訳文の対訳チェック	原文と訳文を照合
契約・規約の用語ゆれチェック	用語の不統一を検出
データの入力ミス・外れ値検出	異常値・入力ミスを検出
資料のトンナナ統一チェック	表現・体裁を統一
二重チェック用リスト作成	確認項目をリスト化
可読性・読みやすさ確認	読みやすさを評価改善
提出前の最終確認	体裁・整合を最終点検

パブリッシャー

データを見やすいグラフに整形	数値をグラフ化
情報を1枚のインフォグラフィックに	要点を図解素材化
週次・月次レポートを定型化	レポートを定型フォーマット化
Notion・社内wikiに掲載	情報を整理し掲載
会議用サマリー1枚	要点を1枚に集約
ダッシュボード用の数値まとめ	KPIを一覧化
社内報・お知らせの編集	社内情報を記事化
配信メール・LINEの体裁整え	配信物を整形
バナー・画像の文言差し替え案	文言パターンを作成
成果物をマルチ形式で出力	PDF・スプシ・Notionへ出力
「動向ウォッチレポート」を定期発行	定期レポートを継続発行
「案件情報サマリー」を定期更新	案件情報を継続更新
「AI活用レシピ集」に蓄積	ノウハウを継続蓄積

B 分析・製作 — 判断のための材料を作る

コンペア

競合3社を軸で比較	評価軸で競合を整理
料金プランをベンチマーク	自社×競合の料金を比較
ツール候補を評価軸で採点	導入候補を採点マトリクス化
施策の前後を数値比較	Before/Afterの数値を整理
複数見積を条件そろえて比較	見積を同条件で並べる
他社の成功事例を要素分解	成功要因を軸で分解
過去キャンペーンのKPI比較	施策別のKPIを比較
市場データから自社位置を整理	2軸でポジション整理
アンケートをセグメント別比較	属性別に結果を比較
Before/Afterのスクショ比較	改善前後を並べる
競合サイトの構成・訴求を比較	LP・機能・訴求を比較

ボイス

口コミ・レビューを収集要約	自社・競合レビューを集約要約
SNSの反応をポジネガ分類	言及を感情分類し集計
顧客アンケートからインサイト抽出	自由回答を要約しインサイト化
問い合わせ・クレームの傾向分析	内容を分類し傾向抽出
競合の口コミから弱点抽出	競合レビューから不満点抽出
面談・会議の文字起こし+要約	音声を文字化し要旨化
イベント来場者コメント整理	現場の声を分類集約
社内アンケートの集計・要約	社内調査を集計要約
レビューから頻出語を抽出	頻出キーワードを可視化
NPS・満足度コメントを分類	満足度コメントを分類
ターゲットのペルソナ素案	声からペルソナを作成

ドラフター

プレスリリースの下書き	要点からPR原稿を生成
提案書の骨子を下書き	ヒアリングメモから構成生成
メルマガ本文の下書き	テーマから配信原稿を生成
SNS投稿文を複数パターン	訴求別に投稿案を量産
FAQ・ヘルプ記事の下書き	問い合わせからFAQ生成
議事録を清書・要約	メモを清書し要約
ブログ・コラム記事の下書き	テーマから記事生成
営業メール・案内文のテンプレ	用途別テンプレを作成
サービス説明・LP文言の下書き	商品情報からコピー生成
会社案内・採用文の下書き	素材から紹介文生成
スライドの構成案・見出し出し	内容から構成・見出し生成

C 収集・整理 — 現場の手間を直接へらす

ウォッチャー

競合のSNS・施策を定点観測	投稿・キャンペーンを記録し変化を通知
補助金・助成金の新着公募を監視	条件に合う公募を抽出
自社の言及（エゴサ）を収集	SNS・記事の自社言及を収集分類
競合の求人票の変化を追う	採用ページの増減・職種変化を記録
指定キーワードの新着記事を検知	技術・トピックの新着を毎日クリップ
展示会・セミナー情報を収集	開催情報を横断収集
競合の価格改定・新プランを追う	価格・セール情報を定点観測
顧客業界のニュースを毎朝要約	主要顧客業界の朝ニュースを要約
官公庁・自治体サイトの更新監視	制度・入札ページの更新を検知

コレクター

入札・公募案件を横断収集	各サイトの案件を集約し一覧化
見込み客の候補情報を収集	条件に合う企業・部署・連絡先候補を収集
業界統計・調査データを集約	使える統計を出典付きで集める
競合の製品スペックを集約	各社スペックを抜き出し表化
登壇者・テーマを収集	ウェビナー登壇者/テーマをDB化
引用できる典拠・URLを集める	公的統計・一次情報のリンク集
過去資料から図表を拾い出す	社内資料から再利用可能な図表を抽出
問い合わせ内容を棚卸し	過去問い合わせをFAQ候補に集約
提携・アライアンス候補を収集	条件に合う提携先候補を集める
業界キーパーソンを収集	インフルエンサー・有識者を一覧化

オーガナイザー

表記ゆれの名簿を名寄せ	顧客・企業名の表記を統一
日付・金額フォーマット統一	バラバラな書式を統一整形
名刺・問い合わせをスプシ化	紙・メール情報を構造化
分類のないデータにタグ付け	AI候補でカテゴリ付与
重複行の検出・統合	重複を検出しマージ
ファイル命名規則を統一	命名・フォルダを整理
自由回答をカテゴリ分け	アンケート回答をコード化
過去議事録を整理	案件・日付別にインデックス化
経費・請求データを科目分類	取引を科目候補で仕分け
画像素材にタグ付け	画像を判別しタグ・分類
顧客要望を優先度で整理	要望を重要度×緊急度で整理

選んだメニューは、必ず"成果物"になる。

後回しにしている業務を一挙に依頼し、作成～成果物の納品まで。

選ぶメニュー

画面 (実際の作業イメージ)

成果物 ▶ 共有

01

規制・法改正を 毎週検知

官公庁サイトの
変更点だけを抽出・要約



AI アシスタント

製造業向けに、今週の法改正・規制の変更点だけをまとめて

今週の規制ウォッチ (要約)

- 化学物質規制: 対象物質が3件追加。5月施行
- 省エネ基準: 機械分野の目標値が改定
- 輸出管理: 該非判定リストの様式が変更

出典: 経産省・各業界団体サイト (4件)



動向ウォッチレポート

→ 人事・現場へ

DEA DATA ENTERTAINMENT ASSET

動向ウォッチレポート

5件 3件 4件 2件

スライドショー

最新規制・法改正の要約を、製造業向けにまとめたレポート。官公庁サイトの最新情報を、要約して提供します。

最新規制・法改正の要約を、製造業向けにまとめたレポート。官公庁サイトの最新情報を、要約して提供します。

最新規制・法改正の要約を、製造業向けにまとめたレポート。官公庁サイトの最新情報を、要約して提供します。

02

競合製品の スペック抽出

各社カタログから
抜き出し、リスト化



競合製品比較 - スプレッドシート

ファイル 編集 表示 挿入 AIで整形

	A社 X-200	B社 PRO-5	C社 M9
定格出力	2.2 kW	2.5 kW	2.0 kW
価格帯	¥48万	¥55万	¥42万
納期	4週	6週	3週
対応認証	ISO/CE	ISO	CE
保証	2年	3年	1年

各社サイト・カタログから抽出 → AIで表に整形



競合比較表

→ 開発・営業へ

DEA DATA ENTERTAINMENT ASSET

競合比較レポート

自社+3社 6項目 2位/4社 納期・保証

項目	自社	A社	B社	C社
定格出力	2.4 kW	2.2 kW	2.5 kW	2.0 kW
価格帯	¥48万	¥45万	¥55万	¥42万
納期	3週	4週	6週	3週
対応認証	ISO/CE/UL	ISO/CE	ISO	CE
保証	3年	2年	3年	1年
サポート	24h	9時	9時	9時

※ 競合製品は、各社カタログから抽出し、AIで表に整形。各項目の値は、カタログに記載されている値です。

03

展示会・セミナー 情報収集

開催情報を横断的に収集し、
カレンダー化



展示会カレンダー - スプレッドシート

ファイル 編集 表示 データ

展示会名	開催日	会場	分野
機械要素技術展	6/18-20	東京ビッグサイト	部品
ものづくりワールド	7/09-11	インテックス大阪	製造DX
生産システム見本市	8/27-29	ポートメッセ名古屋	自動化
国際物流総合展	9/10-12	幕張メッセ	物流

開催情報を横断的に収集 → 月次でカレンダー更新



イベントカレンダー

→ 企画・営業へ

DEA DATA ENTERTAINMENT ASSET

展示会・セミナー カレンダー

18件 6件 2件 4件

日	展示会・セミナー名	開催日	会場	分野	状態	詳細
4月	機械要素技術展	6/18-20	東京ビッグサイト	部品	完了	10000件
4月	スウェーデン2024	6/25-27	幕張メッセ	製造DX	完了	10000件
5月	ものづくりワールド	7/09-11	インテックス大阪	製造DX	完了	10000件
5月	生産システム見本市	8/27-29	ポートメッセ名古屋	自動化	完了	10000件
5月	国際物流総合展	9/10-12	幕張メッセ	物流	完了	10000件

※ 開催情報は、各社カタログから抽出し、AIで表に整形。各項目の値は、カタログに記載されている値です。

成果物イメージ

研修を積んだ障がい者スタッフが実際に手掛けて、資料化(アウトプット)まで行い納品。
社内共有や得意先提案に使用可能なレベルのものを提供していきます。



はたらくほど、できることが増えていく。

できることが増える＝任せられるメニューが増える。
雇用が「コスト」から「戦力」に変わっていきます。

SKILL 01



調べる

競争・規制・技術
トレンドを一次情報まで
追いかける。
「これ調べといて」に
応えられる。

SKILL 02



見せる

集めた情報を、
経営層が読める
資料・図解に変換する。
伝わる形にする力。

SKILL 03



整える

散らかったデータを、
使える状態に整備する。
意思決定の
土台をつくる。

SKILL 04



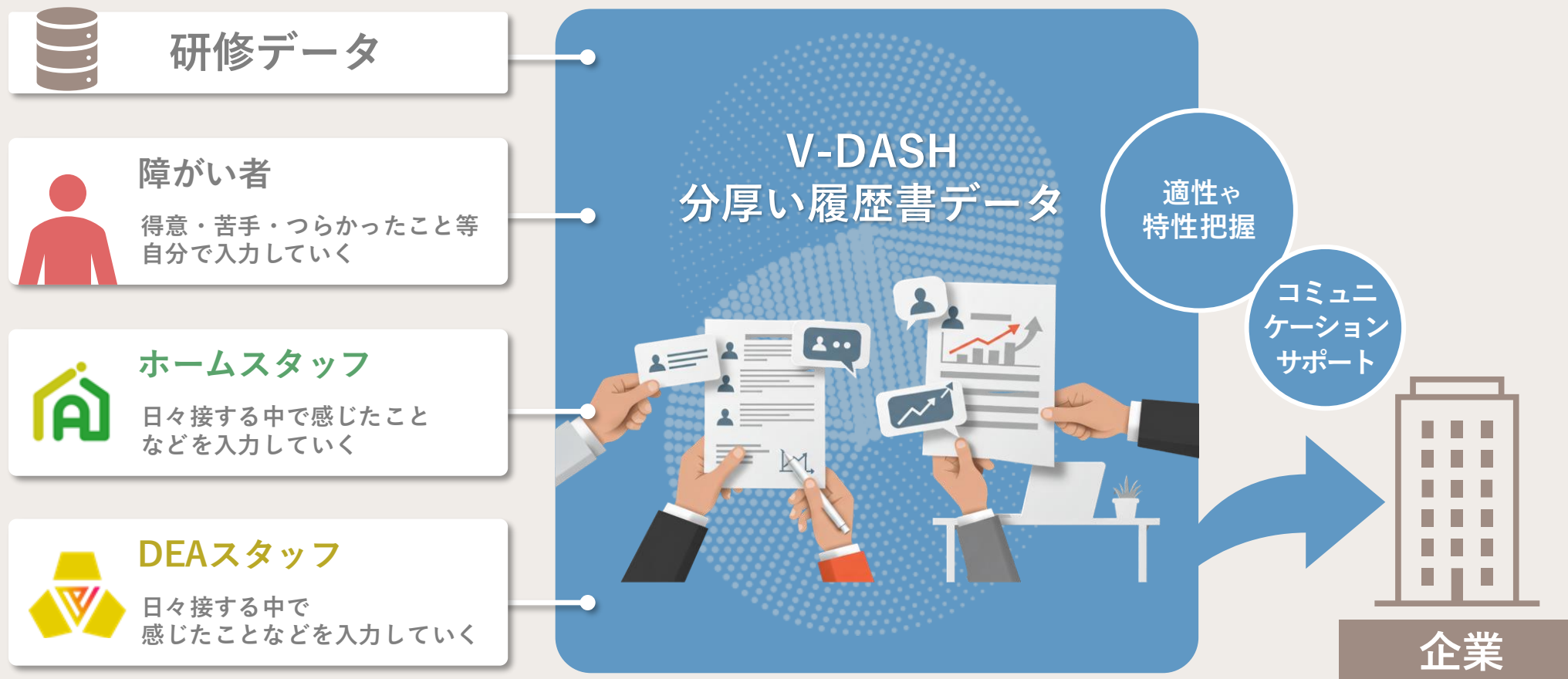
応用する

社内AIを率先して
使いこなし、4つを
組み合わせて
何でもこなす。

V-DASHの説明動画

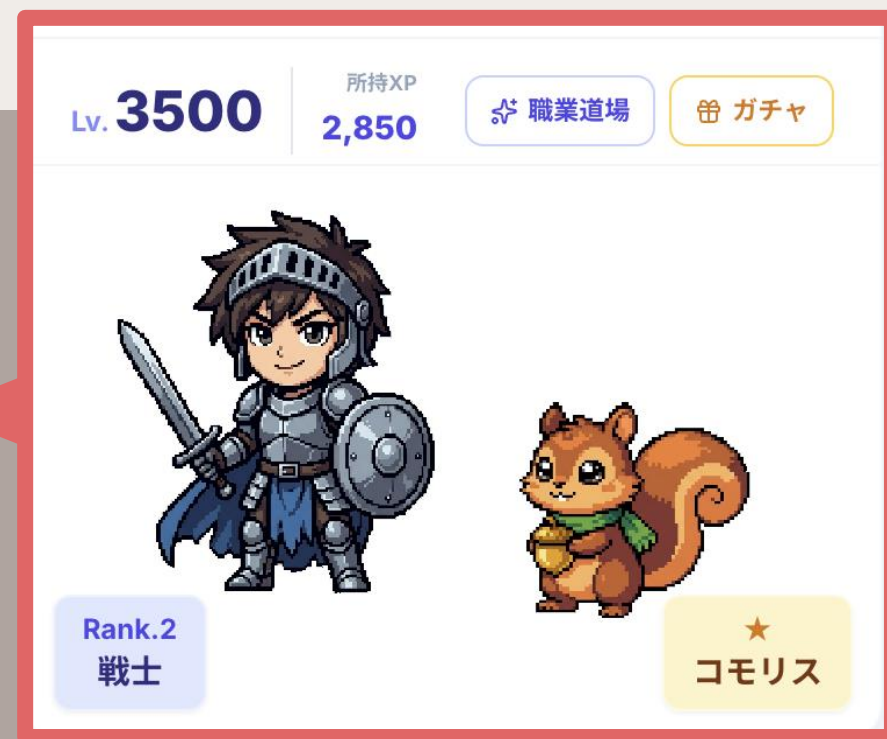
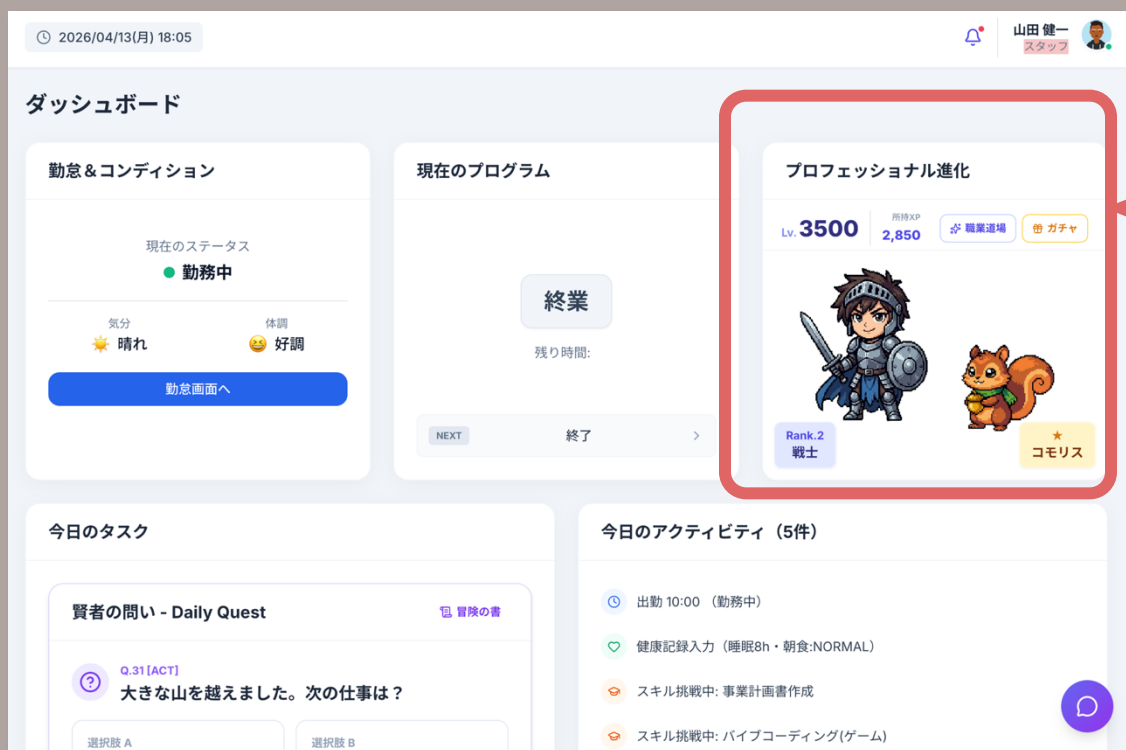
自己&他己分析&研修実績→分厚い履歴書を作成

管理システムV-DASHによって障がい者の適性・特性を把握



V-DASHは、研修や業務を「クリアする楽しさ」がある

DEAならではの、“ゲーム感覚”で「スキルアップ」へ



自らをキャラクターに見立てて、
業務（クエスト）を
クリアしてレベルアップ！

サービス特性 ・ コスト



週**20**
時間～



1名～
採用可



導入まで
20日

DEA在宅就労プラットフォーム
利用 1人あたりのコスト

イニシャル 採用代行・導入研修

50万円

月額

15万円

給与

約10万円

＝1250円×週20時間×4週間※精神障害の方の週20時間で計算

試用期間中の扱い

試用期間（長い面接期間） 3ヶ月無料

※限定につき、お申し込み時にキャンペーンが終了している可能性があります。お早めにお申し込みください。

DEA在宅就労プラットフォーム 利用 1人あたりのコスト

イニシャル 採用代行・導入研修	開始3ヶ月 0円
月額	開始3ヶ月 0円
給与	約10万円

=1250円×週20時間×4週間※精神障害の方の週20時間で計算

助成金・補助金の活用

※各助成金・補助金には一定の要件・審査があります。
概要についての情報提供は弊社より可能ですが、適用具体については
個別状況を運営元に照会のうえご確認ください。

条件と組み合わせ次第で、取り組みコストの大部分をカバーが可能です。

助成金・奨励金名	支給額（目安）	主な需給条件・特記
特定求職者雇用開発助成金	60～240万円	新規雇用向け。週20h以上の継続雇用で受給可能。
障がい者安定雇用奨励金	数十万～100万円超	地方/東京都制度。国の助成金に上乗せ可能。
トライアル雇用助成金	12～48万円	一定期間の試行運用制度。
人材開発支援助成金	数十万～数百万円	研修実施に対し適用。
キャリアアップ助成金（障がい者正社員化コース）	60～120万円	有期雇用から無期雇用（正社員）への転換支援制度。
IT導入補助金	最大450万円	効率化・管理ツール（V-DASH）導入経費の1/2～3/4（予定）
業務改善助成金	60万円～最大600万円	従業員の賃上げと効率化・管理ツール（V-DASH）の導入費用（3/4,4/5）

Opinion

制度と現場をつなぐ、持続可能な障がい者雇用



社会保険労務士
社会保険労務士法人和道経営舎 代表
就労継続支援B型事業所やくだち 代表

小林 信宏氏

私には障がいのある甥と姪がおり、家族として、
また社会保険労務士として企業の人材雇用に関わる立場から、
そして就労継続支援事業所の運営者として、これまで多様な視点で
障がいのある方の働き方と向き合ってきました。

その中で感じてきたのは「制度としての雇用」と
「本人にとって意味のある就労」とのあいだには、
ズレが生まれやすいという現実です。

そうした課題意識を持つ中で、吉田代表と出会いました。
彼が目指しているのは、テクノロジーを活用しながら、場所や環境に
制約されず、それぞれの状態に応じて無理なく働ける形をつくることです。

この考え方は、従来の枠組みにとらわれず、
現実に即した持続可能なアプローチであると感じました。
はたらくホームの仕組みは、就労と育成を切り分けず、
一人ひとりの状態や特性に応じて、適応のプロセス
そのものを設計している点に特徴があります。
そのため、企業側の運用負担を過度に高めること
なく、それでいて就労としての実態を伴う形が、
無理なく成立するように整理されています。

制度と現場、双方の観点から見ても、無理なく継続できる
障がい者雇用の一つの形として、
現実的かつ合理性のある仕組みであると考えています。

障がい者雇用に力を入れる = 企業価値へ

採用実績企業さま

株式会社ヤマノホールディングス（東証：7571）

美容・和装・教育のパイオニア。
一人ひとりの「個性」を
尊重する企業文化だからこそ、
データの力で特性を可視化し、
離職ゼロの戦力化へ。



インパクトホールディングス株式会社

店舗支援・流通のプロ集団。
多種多様な業務（30カテゴリー）の効率化を
極める中で、リモートという
「場所を選ばない即戦力」を組織の力に。